

稲佐山公園の指定管理に係る令和4年度納付金の状況について

1 指定管理者

リージョナルクリエーション長崎・長崎ロープウェイ事業共同体

代表者 株式会社リージョナルクリエーション長崎 代表取締役社長 岩下 英樹

構成団体 一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館 理事長 田中 洋一

2 令和4年度決算の状況と現状

納付金48,109,499円について、令和4年度中に納付されなかったため、令和4年度決算（歳入）において収入未済となっている。【22款 諸収入 5項 雑入 3目 雑入 8節 指定管理施設特定収入】

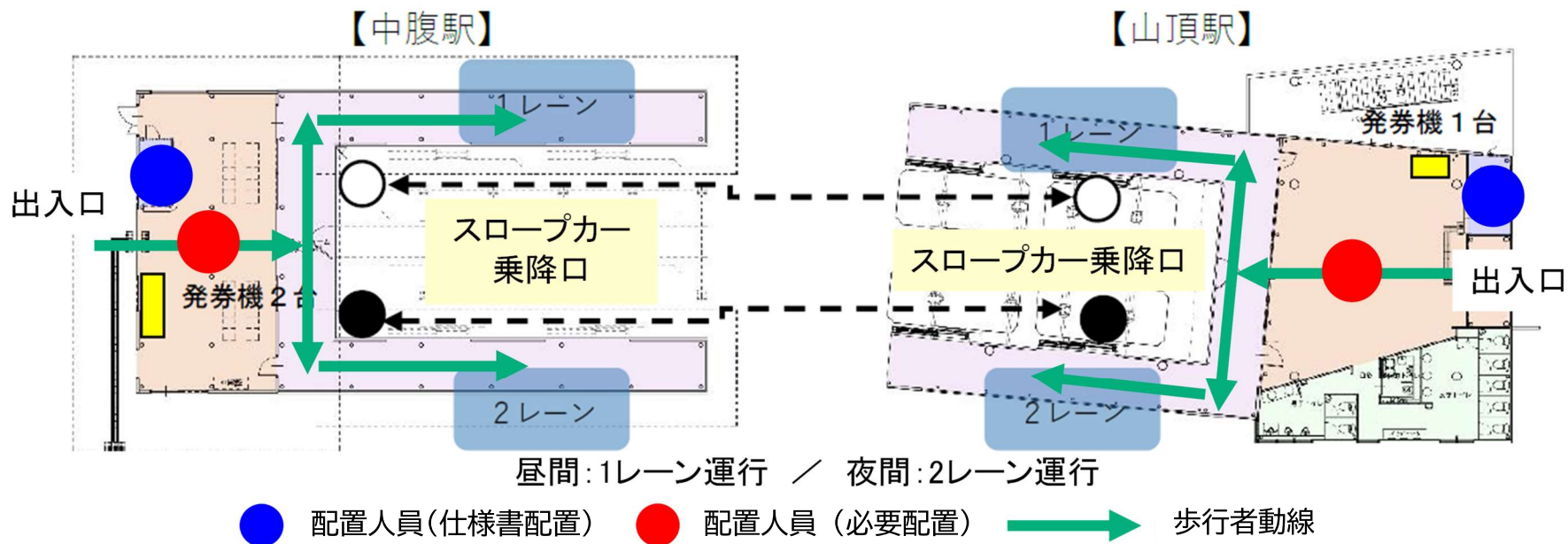
指定管理者からの申し出において、10月31日に納付予定である旨、確認している。

3 経緯

月日	内容
令和5年3月17日	指定管理者から、令和4年度納付金について、収入額の増額のみではなく、支出の実態を踏まえて納付金を算定（減額調整）してほしい旨の申し入れがあったため、長崎市から、具体的な費用の内訳がわかる令和4年度収支決算書を提出するよう要請。
令和5年5～7月	納付金の納付について指定管理者に申し入れるが、支出の実態についてもあわせて解決を図ってほしいとの申し入れがあったため、収支決算書等を精査。指定管理者においてはスロープカーの安全運行にあたりに必要な人員（中腹駅、山頂駅とも各2名）を配置していたが、指定管理者公募時の仕様書に記載していた配置人員では、必要な人員が不足（中腹駅、山頂駅とも各1名）していたことを確認。
令和5年8月25日	確認結果を踏まえ、9月議会に15,554千円を補正予算計上する方針を決定。
令和5年9月8日	納付金に係る請求書を、指定管理者へ送付。
令和5年9月12～14日	建設水道委員会での議案審査。
令和5年9月14日	指定管理者に、建設水道委員会での補正予算の減額修正を伝え、納付金の納付について申し入れ。
令和5年10月6日	未納の状況を解決するための協議。
令和5年10月13日	指定管理者から全額納付するとの申し出あり。

4 人員配置の設定誤り

中腹駅および山頂駅において、窓口対応や乗り場までの歩行者の安全確保、スロープカー利用者の整理等のため各々の駅で2名の配置が必要であり、仕様書で各2名とすべきところ、各1名と誤っていたもの。



■中腹駅



■山頂駅



5 必要な人員配置に係る積算の考え方

委託料については、下記の人員数をもとに積算を行った。

(1) 必要な人員配置への見直し

		見直し前		見直し後	
		昼間 9:00~18:00 1レーン稼働	夜間 18:00~22:00 2レーン稼働	昼間 9:00~18:00 1レーン稼働	夜間 18:00~22:00 2レーン稼働
窓口業務(※)	山頂駅	1名	1名	2名	2名
	中腹駅	1名	1名	2名	2名
オペレータ業務		1名	2名	1名	2名
合計		3名	4名	5名	6名

※窓口業務…団体客対応、料金説明、案内、支払い対応等

■積算上の人員数

昼間 9:00 ~ 18:00 9H×2名=18H/名 夜間 18:00 ~ 22:00 4H×2名= 8H/名
 1日あたり・・・18H+8H=26H/名 1年あたり・・・26H×365日=9,490H/年
 $9,490H \div 1,890H$ (市職員の年間勤務時間) = **5名**

(2) 繁忙期の見直し

繁忙期は、上表の人員配置に加えて、2名のアルバイトを追加で配置しているが、土日祝も繁忙期と同程度の利用があり、平日の人員配置ではサービス提供が困難なため、繁忙期に土日祝を追加。

	見直し前	見直し後
繁忙期	ゴールデンウィーク(10日間)、お盆(5日間)、シルバーウィーク(4日間)、年末年始(7日間)、ラントンフェスティバル(15日間)の計41日間	左記(41日間)に土日祝を加えた 計142日間

■積算上の人員数

$26H \times (142日 - 41日) = 2,626H$
 $2,626H \div 1,890H$ (市職員の年間勤務時間) = **1.4名**

6 納付金の考え方

利用料金収入のうち、提案額を超えた金額について、原則として指定管理者は全額を市へ納付する。

